ラブリー スマイル

Merry in Sapporo プロジェクトタイアップ

「元気な明るい表情が新鮮です」「1人ひとりの笑顔にストーリーがあるんですね」と一部の関係者でとても好評な「Merry in Sapporo」のコーナー。30日の四番街の大ごみ拾いで、すべてのイベントが終了するため、今週と来週の2回を残すのみとなっちゃいました。ラス2っす。ここに登場してくれた人の中には、ごみ拾いに参加する人も多いので、本物の笑顔（素顔？）を見に来るのも楽しいのでは。お待ちしてマスター、ホットワン！

今週のメリーなひと

子どものココロ勉強中

札幌福祉保育専門学校2年の西村仁江（のりえ）さん（19）はストレートなメッセージを寄せてくれた。「優しくて、うそをつかない人」が最低条件だけど、いまのところ王子様候補はいないとか。学校では子どもの心理学を勉強中。「やりがいがあるから」と、あえて養護施設などで働くことを目指している。アンパンマンの仲間のしょくぱんまんグッズを収集しているカワイイ一面もあるんです。

人との絆がメリーの源

「毎日が楽しくてしょうがない」という岡本沙奈江さん（21）は、4プラの一階にある「プレイボーイ」で働いている。色々なお客さんと接することに喜びを感じ、「休日もひとすら友達といる」という岡本さんは、人との出逢いを何よりも大切にする。「何十年か経って振り返ったときに、『この人たちといて良かった』と心から思えるような強い絆をつくっていきたいですね」

ビッグになって海外へ？

「つらいこともありますが、乗り越えると面白くなるんです」と勉強に打ち込んでいる北海道理容美容専門学校の中田佳奈子さん（19）。「本当は栄養士とか、スチュワーデスにもなりたかったんですけど…」。毎年家族で行く海外旅行では、機内で働くスチュワーデスの立ち振る舞いに見入ってしまうそう。「将来は外国で美容の勉強をしてみたい」と、視線は海外からそらすことができない。

※このコーナーでは、イベントの仕掛け人である水谷孝次さんが撮影した写真と、イベントに協力してくれた方のメッセージを毎週紹介します。

サッポロをキレイに

「きれいだと思っていた札幌の街が汚くてちょっとショックです」。メリーインサッポロを支援するセッズヘアの取締役統括店マネージャーを務め、メリーに深く携わる五十嵐千織さん（38）は、ごみ拾いに参加して驚いたという。「たばこの吸い殻とガムがすごく多くて、札幌はキレイな街だとよく言われるけど、実は汚れているってことがわかった」という五十嵐さん。「一人ひとりが意識を変えていかなきゃね」

思いっきり遊びたい

美容師を目指している北海道理容美容専門学校2年の廣瀬満希さん（19）のお気に入りは7足ぐらいあり、ハイカットが好きなんだとか。学校は最後の1年間。「カットや着付けの実習が始まり、やることがいっぱいあって大変です。でも最後の学生生活なので、海に行ったり、車で温泉とか行って遊びたい」。加えて、国家試験と就職活動で忙しくなる。将来は海外のサロンに留学してみたい。

PJスタッフから

スタッフの荒関理絵さんを紹介します

スタッフの新関ちゃん。自動販売機のチラシ補充も大事な作業のひとつです。母校にフリーペーパーを設置してもらったり、Merryな笑顔の輪を広げるために日々がんばっています！

この連載もあと2回となりましたが、今週はプロジェクトスタッフ新関理絵さん（20）を紹介します！

「新関ちゃん」は今年3月にデザイン系の専門学校を卒業したばかり。卒業制作に「笑顔」をモチーフにした作品を作りました。Merryの新聞記事を読んだ学校の先生から話を聞いたことがきっかけで、卒業式直前にスタッフになりました。「最初は『自分と似てることをやってる人がいた！』と興味を持って、水谷さんにどういう考えで笑顔のアートをしているのか聞きたくて参加したんです。聞いてみたら自分と同じでした」

Merryのアートは「笑顔の写真とメッセージ」ですが、新関ちゃんは「無表情なポストカードをはがしていくと、最後に大きな笑顔のポスターが現れる」という作品。来場者に無表情な絵が描かれたポストカードを持ち帰ってもらい、見てもらって、笑顔を忘れずに生活してもらうことを目的にしています。

本当に笑顔（笑い）の絶えない2年間の学生生活の中から、新関ちゃんが発見した「笑顔の人のまわりには、笑顔の人がいる」という法則は「笑顔によって多くの人を笑顔にすることができる」というMerryの基本精神に通じます。

「Merryでゴミ拾いをしてから、道に落ちている小さなゴミが気になるようになりました。自分もポイ捨てできなくなったし、捨てる人見たらむかつく」と話す新関ちゃんは将来、銀座を闇にすることを夢見ています。

（プロジェクトスタッフ・貝塚いりえ）

「Merry in Sapporo」プロジェクトとは

「まちを笑顔で埋め尽くそう！」を合い言葉に、アートディレクターの水谷孝次さんによるイベントが「Merry in Sapporo」。ちょっと元気のない札幌や北海道をMerry（幸せ）で包みます。

札幌の人々の笑顔の写真を札幌四番街商店街のいたるところに張り出したり、商店街の店員がメリーのバッジを付けて接客したり、みなさんの写真とメッセージを集めたフリーペーパーを発行したりします。

「Merryはあなたの足下から」―5月30日の「ゴミ・ゼロの日」には、全道で5万人が参加したごみ拾いイベントでフィナーレを迎えます。

詳しくはホームページwww.21merry.netをご覧ください。